新宿区立花園小学校　学校だより

はなぞの

第315号　令和5年10月

生活目標　10月

ことばづかいに
気をつけよう

子供たちの 笑顔いっぱい
日々の様子はこちらから

半年が過ぎて思うこと

副校長　幸村香代子

いよいよ１０月。令和５年度が始まってから、あっという間に半年が経ちました。２期制の花園小学校では、１０月１３日で前期が終了し、翌週からは後期が始まります。

半年前、子供たちは、新しい担任と出会いました。１年生はわくわくドキドキしながら小学校生活をスタートしたことでしょう。２年生は黄色い帽子から校帽へと変わり、ランドセルを背負う姿もたくましくなりました。理科や社会科が始まった３年生は、ゴムの力で走る車の実験や、スーパーマーケット見学など、様々なことに興味をもち、精一杯学習を楽しむ姿がありました。４年生は、クラブ活動が始まり、楽しそうに参加しています。また、先日の社会科見学には、副校長の私も同行し、一所懸命にメモをとる４年生の様子に感心させられました。５年生は委員会に所属し、６年生の姿を見ながら、学校を支える活動を頑張っています。そして、最高学年となった６年生。日光移動教室に行くための事前学習に取り組み、準備を整え、２泊３日の宿泊学習を経験。それは、たくさんの思い出と、学びを得る貴重な時間となりました。また、６月の運動会や様々な学年行事の中で見られた新苑学級の活躍や頑張りには、何度も感動をもらう半年間でした。

子供たちにとっての「前半戦」は、たった半年とはいえ、とても密度の濃い学びの積み重ねでした。初めてのことへの不安もあったことでしょう。しかし、それを乗り越え、達成感を得ることで、少しずつ自信という「土台」を築いた日々でした。

前期終了日、通知表を渡しますが、子供たちの学校生活は通知表だけでは、評価しきれない部分が多くあります。そこで、１０月の個人面談では、半年間の学校での頑張りを担任からお伝えし、ご家庭での様子についても伺います。本来、学校での様子と、家庭での様子は全く違うものです（大人もです）。情報が氾濫する現在、ネットを検索すれば、子育て論や教育論はたくさん手に入ります。しかし、一人一人が違う個性をもつのですから、だれにでも通用する「攻略本」などはありません。そして、子供の心は目には見えません。保護者と教師が、子供の日々の行動や言動を多面的に語り合うことは、子供の気持ちを察して理解を深め、後期の応援の仕方を考える「作戦会議」とも言えます。

子供たちの「土台」は、まだまだ不安定です。小学校の６年間をかけて、大きく、しっかりとした「土台」を育んでいくために、家庭と学校が連携して、見守り、応援していきましょう。保護者の皆様、地域の皆様、前半戦に引き続き、後半戦も「花園応援団」として、よろしくお願いします。

「読書」や「読み聞かせ」の良さとは

図書担当

先日、図書委員会で「読書をするとどんな良いことがあるか？」をテーマに話し合いました。「将来に役立つ」「色々な見方や考え方ができる」等、数々の意見が出ていました。皆さんは、どう思いますか？

一口に読書と言っても、そのスタイルは時代と共に変化しています。一冊の本を手に取って読み進める読書もあれば、電子書籍や耳で聴くオーディオブックでの読書もあり、個人のニーズで選択できるようになりました。

学校では、「読書」と共に「本の読み聞かせ」を大切にしています。読み聞かせには、作者独特の言い回しや表現、読み手の表情や抑揚、台詞やページをめくる間や挿絵から、想像力が膨らみ話の世界に引き込まれる魅力があります。更に、対面で行われるため、読み手と聞き手との間でコミュニケーションが生まれ、豊かな言葉表現を身に付けたり、気持ちを共有したりすることができる良さがあります。

花園小では、図書支援員、図書ボランティアによる読み聞かせや朝読書の時間を設けて読書活動の充実を図り、言葉を広げ、知的活動を増進し、人間形成や情操を養うことに繋げています。

特別支援学級合同移動教室について

新苑学級担任

新苑学級の４・５・６年生が、７月 12 日（水）から７月 14 日（金）まで、特別支援学級合同移動教室へ行きました。今年度は特別支援学級設置校５校、全 63 名の児童と 29 名の教職員等が長野県の女神湖で一堂に介し、３日間生活を共にしました。

新苑学級では、「話を聞く、自分のことは自分でする、時間を守る、仲良く協力する」の４つの目標のもと、布団の敷き方や体の洗い方、荷物の出し入れの練習などの事前学習に取り組んでから本番に臨みました。ご家庭でもたくさんのご協力をいただき、児童の自立に向けて連携して取り組みました。

当日は、これまでの学習の成果を存分に発揮し、４つの目標を守り、お互いに声をかけ合って行動する姿が多く見られ、成長を感じました。

女神湖での経験を、これからの学校生活に、ぜひ生かして欲しいと思います。

＊＊＊

＜教室の窓　６年＞

「日光移動教室を終えて」

一人ひとりが自分の役割を意識し、また仲間を思いながら行動する姿がたくさん見られました。天候に恵まれ、混雑に巻き込まれることもなく過ごせた３日間で、すばらしい体験と楽しい思い出がたくさんできました。

【子供たちの一言感想】

・日光では、その自然と彫刻を本当に見たかったので、とても楽しかったです。とても素敵な経験で、その歴史と起源についてもっと学ぶことができました。
・日光で多くのことを学びました。日光の景色はとても良いです。 見たり体験したりするのも楽しかったです。
・東京にはない自然を見られて良かったです。
・華厳の滝が写真で見るよりも滅茶苦茶きれいでした。
・華厳の滝は見た瞬間圧倒されたし、滝を見て初めて見に来てよかったなと思いました。
・足尾銅山が楽しかったです。なぜなら、色々な歴史が知れたからです。
・足尾銅山でトロッコ列車に乗ったことが楽しかったです。
・初めての日光彫は、桜のカーブの部分がとても難しかったけれど、とても楽しかったです。
・私は、日光彫と日光江戸村と肝試しが楽しかったです。
・江戸村でいろんな体験がたくさんできて楽しかったです。
・私は、日光江戸村の斜めの部屋が不思議で、とても面白かったです。
・私は日光江戸村が楽しかったです。なぜなら、にゃんまげや忍者体験が面白かったからです。
・初めての、日光東照宮が凄く良かったです。
・新宿にはない自然を感じ取ったり、レクや宿舎での思い出もたくさんできたりしてよかったです。
・宿舎が楽しかったです。なぜなら、ご飯や活動がいいと思ったからです。
・日光に行って泊まった宿の朝ご飯、夜ご飯が思い出です！なぜなら普段と食べる量が段違いだったけど、すごく美味しかったから！
・去年まではコロナでバスレクなどができなかったけど、今回はできてとても楽しかったです。
・レク係の人が用意してくれたレクが楽しかったです。
・私は、全員で肝試しをしたことが楽しかったです。
・レクが考えた肝試しが怖かったですが、みんなと楽しく出来ました。
・日光でした肝試しがとても楽しかったです。
・レクリエーションの肝試しが人生初めてでした。人生初めての肝試しがみんなと一緒でうれしかったです。
・二日目の夜のレクリエーションで、肝試しをしたのが、怖かったけど、楽しかったです。
・レクが考えた２日目の肝試しが怖く、楽しく、リアルでとてもいい思い出になりました。

「ゆうやけこやけ」放送時刻について

秋の深まりとともに日没時間が早まりますので放送時刻が変更されます。防犯安全の観点からも、音楽が流れた後は速やかに帰宅できるよう各ご家庭でお子さんと約束をしてください。

「ゆうやけこやけ」放送変更期間　１０月～３月

設定時間　**午後４時３０分**

＊＊＊